

図画 工作	特に育成したい能力や態度 (<u>具体的な数字や言葉で記載する</u>) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
低 学 年	① 表現活動に楽しく取り組む姿勢 ・知的好奇心や学習意欲の高い児童が多い。用具の使い方や表現することをより楽しみながら取り組む児童を増やし、挑戦する意欲を育てる。 ② 楽しく発想や構想をする力 ・造形的な面白さや楽しさを感じ取り、表したいことや、表し方などについて考える力を育てる。 ③ 自分や他人の価値を大切にする力 ・用具や相手を大切にし、自分や友だちの作品を見て鑑賞力を養う。	① 積極的に発想を広げられる環境をつくり、互いに良さを感じ発言できる展開をつくる。9割以上の児童の意欲が高まるように取り組む。また、造形技能の基礎、基本を身に付けさせる。 ② 身近なものやことを題材にして、表したいことが考えやすいようにする。また、扱いやすい様々な素材や用具に触れさせることにより、表し方について考える力を育てる。 ③ 互いの作品を見合う場をつくる。作品のよさや面白さを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方が広がるようにする。	
中 学 年	① 表現することを楽しみ、造形に取り組む意欲 ・発想したり、思ったことを表現したりすることが苦手な児童が数名いる。児童が進んで取り組めるよう力を持たせる。 ② 豊かに発想や構想する力 ・造形的なよさや面白さを感じ取り、表したいことや、表し方などについて考える力を育てる。 ③ 自分や他人の価値を大切にする力 ・用具や相手を大切にし、自分や友だちの作品を見て鑑賞力を養う。	① 想像することや作品をつくる意識が薄い児童が2割程いる。表現する楽しさや、形にする達成感を味わわせる過程づくりを重視した授業展開にする。 簡潔で分かりやすいことをめあてに指導し、視覚的に伝わりやすい指導をする。 ② 身近なことを題材にしたり用途を考えたりして、発想や構想しやすくする。興味を持ちやすい素材や様々な用具に触れさせることにより、表し方について考える力を育てる。 ③ 身近にある作品や互いの作品を見合う場をつくる。作品のよさや面白さを感じ取ったり表し方について考えたりし、見方や感じ方が広がるようにする。	

高 学 年	① 関心を持って作品をつくる意欲・態度 ・児童によって造形活動への意欲に大きな差がある。興味関心をもって取り組み、活動を見通せる力を身に付けさせる。 ② 創造的に発想や構想する力 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、表したいことや、表し方などについて考える力。 ③ 自分や他人の価値を大切に言葉にする力 ・作品のよさを感じとり言葉に表せる児童が多いが、厳しい児童も少なくはない。全体を通してそれぞれの鑑賞能力を高められるようにする。	① 授業のめあてや導入での説明を明確にし、見通しを持って活動に取り組ませる。 つくる工程を細かく分け、その都度進度の確認と評価を行い、目標をもたせる。 ② 関心を持ちやすいことを題材とし、発想や構想しやすくする。 感じたことや見たことや用途をもとに考え、今までの学習を生かし、表したいことに合わせて素材や用具を選んで表わす力を育てる。 ③ 親しみのある作品や、互いの作品を見合う場をつくる。 造形的なよさや美しさ、表し方の特徴について感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方が深まるようにする。	
-------------	--	---	--